

(様式3)

平成26年11月27日

低炭素モデル地区事業申出書

名古屋市長

(申請者)

住所 名古屋市中区錦2-13-1 宮本ビル4階

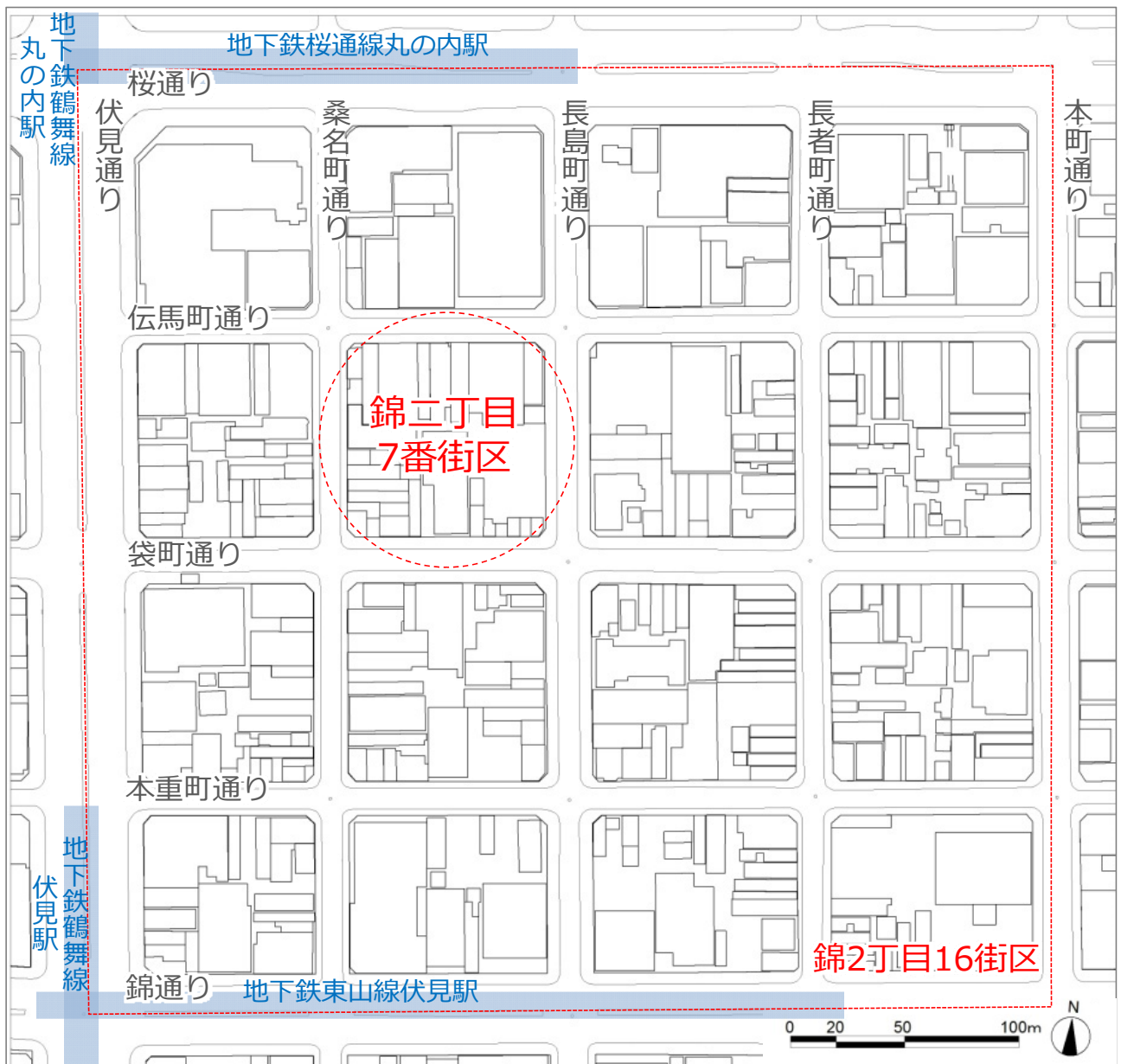
氏名 堀田 勝彦

(錦二丁目まちづくり協議会会長)

「低炭素モデル地区」として事業を実施したいので、次のとおり申し出ます。

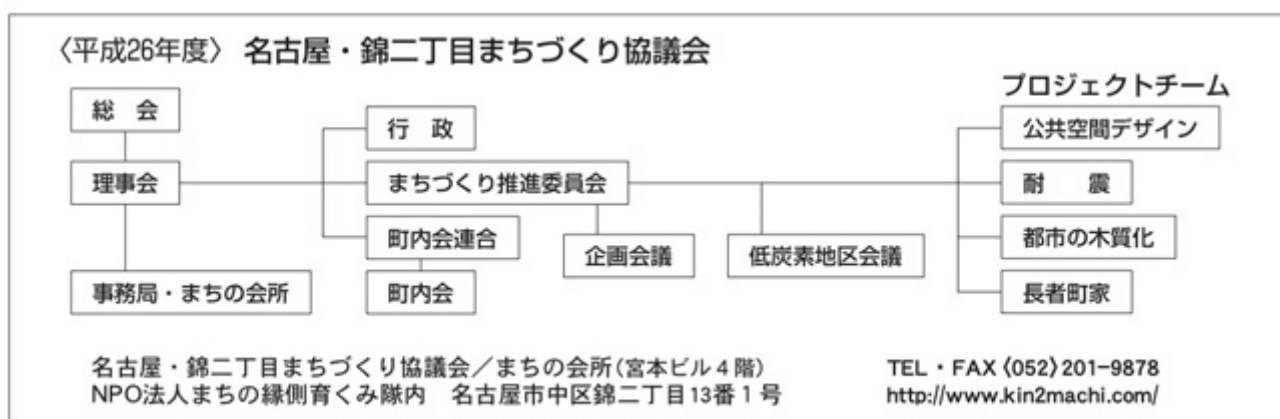
低炭素モデル地区事業の名称	錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクト		
事業の実施予定期間	平成26年9月から平成42年12月(まちづくり構想目標年次)		
主な事業者等の氏名	住所	氏名	
	名古屋市中区錦2-13-1宮本ビル4階	錦二丁目まちづくり協議会	
	名古屋市中区錦二丁目11番25号	錦二丁目町内会連合	
	名古屋市中区錦二丁目7番6号 東海足袋(株)内	錦二丁目7番街区 市街地再開発準備組合	
事業対象地区の内訳	地区の名称	錦二丁目	
	地区の総面積(m <sup>2</sup> )	約160,000m <sup>2</sup> (16ha)	
	内訳:所在地	用途地域	内訳:面積(m <sup>2</sup> )
	錦二丁目1~16番街区	商業地域	約160,000m <sup>2</sup>
事業方針の概要 (温室効果ガスの削減率及び対策の概要)	錦二丁目長者町まちづくり構想の対象範囲(=錦二丁目まちづくり協議会の活動範囲)である錦二丁目16街区における(A)まちづくりプロジェクトの推進と(B)7番街区再開発計画の実現を通じて、既成市街地における地域主体の長期的・漸進的な低炭素地区形成のモデルを提示する。(A)では、既存の各種プロジェクトチームの取り組みを発展させながら、環境省の「平成26年度低炭素ライフスタイルイノベーションを展開する評価手法構築事業委託業務」を軸に16街区全体の二酸化炭素排出25%削減を目標とするまちづくりプロジェクトのPDCA(Plan-Do-Check-Action)を錦二丁目まちづくり協議会低炭素地区会議が展開する。(B)では単独の市街地再開発事業における二酸化炭素排出の25%削減を目指す。		
添付書類	1 地区の位置図		
	2 地区の面積を示す図面(求積図)		
	3 事業者の組織を示す書面		

添付書類 1・2 地区の位置図 兼地区の面積を示す図面（求積図）



<錦二丁目まちづくり協議会>

名称	名古屋・錦二丁目まちづくり協議会 (旧：名古屋・錦二丁目まちづくり連絡協議会)
所在地	名古屋市中区錦二丁目13番1号 宮本ビル4階 (NPO法人まちの縁側育くみ隊内) TEL・FAX(052)201-9878
設立年	2002年 (正式発足 2004年3月)
代表者	会長 堀田勝彦
設立目的	住民が住む理想のまちを実現するために、仲間が交流・連携し、住民・行政・専門家のパートナーシップにより錦2丁目全体として、より良いまちを育てゆくこと
活動内容	1.会員相互の交流促進に関すること 2.会員への情報提供に関すること 3.行政機関との協議・調整に関すること 4.錦2丁目全体の街づくり提案及び関連する制度やルールの協議・検討 5.各街区のまちづくり協議会等との連絡調整 6.上記に関連した広報・イベントその他の目的達成に必要な事業



## [錦二丁目低炭素地区まちづくりプロジェクトに関わるプロジェクトチーム]

短期的な取り組み：低炭素会議を中心に2014年度・2015年度で実施する環境省事業における位置付けがあり、ここ1～2年で実施する取り組み、または、既に始まっている取り組み

長期的な取り組み：2030年を目標年次とする錦二丁目長者町まちづくり構想の実現と二酸化炭素排出量削減目標の達成に向け、これから約15年で実施する取り組み

### 1) 公共空間デザインチーム

#### ●メンバー：

藤森幹人、河崎泰了、田中亨ほか

#### ●短期的な取り組み：

- ・長者町ウッドテラス（歩道拡幅社会実験）の実施と効果測定、実証実験結果を踏まえた木材を利用した公共空間整備手法の検討
- ・長者町ウッドテラスのコミュニティスペースとしての積極的活用
- ・街路の本格的再整備（歩道拡幅）のための具体的検討
- ・街路灯のLED化
- ・マルシェのイベント時開催による買い物利便性の確保、利用状況や効果の実証

#### ●長期的な取り組み：

- ・マルシェの定期開催による買い物利便性の確保
- ・公共的空間の使いこなし

### 2) 耐震（減災）プロジェクトチーム

#### ●メンバー：

鈴木敏明ほか

#### ●短期的な取り組み：

- ・耐震・減災の啓蒙活動

#### ●長期的な取り組み：

- ・建物の建て替えやリノベーションの耐震・減災面からの推進
- ・地区のサステナビリティとレジリエンスの向上

### 3) 都市の木質化プロジェクトチーム

#### ●メンバー：

滝一之、河崎泰了ほか+名古屋大学大学院生命農学研究科佐々木康寿・山崎真理子ほか

#### ●短期的な取り組み：

- ・長者町ウッドテラス（歩道拡幅社会実験）の実施と効果測定、実証実験結果を踏まえた木材を利用した公共空間整備手法の検討
- ・旧問屋ビルの用途変更や木質化等
- ・「まちの工房」の開設とそれを拠点とした木質化の推進

#### ●長期的な取り組み：

- ・都市の公共空間及び建物の内部・外部の木質化と緑化

- ・森を街で利活用する「錦の森」の運営

#### 4) 長者町家プロジェクトチーム

- メンバー：  
堀田勝彦、延藤安弘ほか
- 短期的な取り組み：
  - ・既存シェアハウス（1戸を3人でシェア）の効果実証と施策検討
  - ・運用変更やライフスタイル変化による効果実証
  - ・時間貸し駐車場を活用したシェアハウス建設の検討
- 長期的な取り組み：
  - ・シェアハウスの導入による都心居住の促進

#### 5) 自然エネルギー利活用チーム

- メンバー：  
清水秀彦、田中亨ほか
- 短期的な取り組み：
  - ・既存リノベーションビルのエネルギー消費の計測と追加施策の検討
  - ・設備運用変更やライフスタイル変化による効果の実証
- 長期的な取り組み：
  - ・旧問屋ビルの用途変更や木質化、設備の運用変更
  - ・太陽光エネルギー等の積極的利活用
  - ・様々な環境技術・環境システム導入の推進

[低炭素地区会議：各プロジェクトチームを低炭素まちづくりの観点から統括する会議]

- メンバー：  
村山頭人 低炭素地区会議議長／東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻  
田中 亨 低炭素地区会議統括／長者町マルシェ担当  
藤森幹人 公共空間デザイン担当  
鈴木敏明 耐震（減災）担当  
滝 一之 都市の木質化担当／下長者町町内会長  
河崎泰了 都市の木質化・公共空間デザイン担当  
堀田勝彦 長者町家担当  
清水秀彦 自然エネルギー利活用担当  
船橋浩三 7番街区再開発計画担当  
小出祐弘 本重町町内会長  
吉田俊雄 下長者町前町内会長  
延藤安弘 NPO 法人まちの縁側育くみ隊  
名畑 恵 NPO 法人まちの縁側育くみ隊  
森田紘圭 大日本コンサルタント株式会社  
青木英輔 大日本コンサルタント株式会社  
寺西慶徳 オブザーバー／名古屋市環境局環境企画課  
宮口博孝 オブザーバー／名古屋市環境局環境企画課

●短期的取り組み：

- ・環境省「平成26年度低炭素ライフスタイルイノベーションを展開する評価手法構築事業委託業務：既成市街地のまちづくりを通じた都心型低炭素ライフスタイル・ワークスタイルの評価方法構築」の実施（共同事業者：大日本コンサルタント株式会社・東京大学大学院工学系研究科村山顕人・NPO 法人まちの縁側育くみ隊）
- ・各プロジェクトの進捗状況の確認と相互調整・協力

●長期的取り組み：

- ・錦二丁目16街区全体の二酸化炭素排出25%削減を目標とするまちづくりプロジェクトのPDCA（Plan-Do-Check-Action）の展開

<錦二丁目7番街区市街地再開発準備組合>

名称	錦二丁目7番街区市街地再開発準備組合
所在	名古屋市中区錦二丁目7番6号 東海足袋(株)内
設立	2013年1月
理事長	高橋秀法
事業協力者	野村不動産（株）、旭化成不動産レジデンス（株）
コンサルタント	（株）タウンコム、（株）日本設計

●取り組み

- ・7番街区における市街地再開発事業の計画・実施  
（住宅・商業複合建物の建設、複数建物の共同化、0.5ha以上の再開発）